

A horizontal row of 20 light green dots.

2012 年 2 月期 決算説明資料

A horizontal row of 20 light green dots.

株式会社ジェイプロジェクト (3063)

2012年4月25日

目次

1. 連結決算概要

連結業績概況	-----	4
連結損益計算書概要	-----	5
連結貸借対照表概要	-----	6
連結キャッシュ・フロー計算書概要	-----	7
セグメント別業績概況	-----	8
飲食事業の業態分析	-----	9

2. 2012 年 2 月期トピックス

デフレ競争を回避し売上高を確保	-----	11
J-Value 推進により FL コストが低減	-----	12
有利子負債を軽減し財務体質を強化	-----	13
既存店収益状況	-----	14
9 店舗を新規出店	-----	15
店舗数の推移	-----	16

3. 今後の方向性

居酒屋業界の現状	-----	18
今後の方向性	-----	20
株式会社ジェイグループホールディングス	-----	23

4. 今期の取り組み

関東地方の出店へ注力	-----	25
ブライダル施設の新規オープン	-----	26
今期 2 店舗を新規出店	-----	27
今期の業績見通し	-----	28

1. 連結決算概要

連結業績概況

(百万円)

	2011 年 2 月期 通期実績	2012 年 2 月期 通期実績	前年同期比 (%)	2011 年 2 月期 計画※	計画比 (%)
売上高	9,481	9,514	100.3	9,300	102.3
営業利益	40	219	542.8	120	182.9
経常利益	9	266	28.0 倍	180	148.1
当期純利益	△315	122	—	102	120.2

※2012 年 1 月 10 日公表

増収と大幅な増益を達成し、営業利益は過去最高を更新

震災の影響はあったものの、居酒屋業態において低価格競争を回避したことで売上高は堅調に推移。収益力向上の取り組み「J-Value」の推進により、営業利益は過去最高を達成し、経常利益、当期純利益も大幅に増益。

連結損益計算書概要

(百万円)

	2011 年 2 月期 通期実績		2012 年 2 月期 通期実績		前年同期比 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)	
売上高	9,481	100.0	9,514	100.0	100.3
売上原価	2,927	30.9	2,862	30.1 ①	97.8
売上総利益	6,553	69.1	6,651	69.9	101.5
販売管理費	6,513	68.7	6,432	67.6 ②	98.8
営業利益	40	0.4	219	2.3	542.8
営業外収益	55	0.6	130	1.4	234.7
営業外費用	86	0.9	83	0.9	96.5
経常利益	9	0.1	266	2.8	2803.0
特別利益	21	0.2	105 ③	1.1	491.3
特別損失	465	4.9	64	0.7	13.8
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失	△434	△4.6	307	3.2	—
当期純利益 又は当期純損失	△315	△3.3	122	1.3	—

①J-Value による原価低減は引き続き順調に進み、飲食事業単独での原価率は 25.5%となり前年同期比 1.2 ポイントの大幅な低減を達成。

②震災による影響を、J-Value による販管費の抑制でカバーし、販管費比率は前年同期比 1.1 ポイントの低減を達成。

③撤退店舗の売却等により、固定資産売却益 104 百万円を計上。

連結貸借対照表概要

(百万円)

	2011年2月期 期末	2012年2月期 期末		2011年2月期 期末	2012年2月期 期末
【資産の部】			【負債の部】		
流動資産	776	960	流動負債	2,266	2,118
現金及び預金	220	423	買掛金	350	358
売掛金	277	257	短期借入金 ※一年内返済予定長期借入金との合計	1,106	821
たな卸資産	56	60	その他	809	938
その他	222	218	固定負債	2,941	2,748
固定資産	5,781	5,477	長期借入金	2,696	2,442
有形固定資産	3,940	3,960	その他	245	306
建物及び構築物	2,567	2,593	負債合計	5,207	4,867
土地	1,131	1,131	【純資産の部】		
その他	241	236	株主資本	1,349	1,566
無形固定資産	39	31	資本金	701	748
投資その他の資産	1,801	1,484	資本剰余金	631	678
資産合計	6,557	6,437	利益剰余金	92	215
			自己株式	△76	△76
			その他の包括利益累計額	0	3
			純資産合計	1,349	1,570
			負債純資産合計	6,557	6,437

連結キャッシュ・フロー計算書概要

(百万円)

	2011 年 2 月期 通期実績	2012 年 2 月期 通期実績	ポイント
営業活動によるキャッシュ・フロー	458	797	税金等調整前当期純利益 307百万円 減価償却費488百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36	△ 122	新規出店など有形固定資産の 取得365百万円 有形固定資産の売却117百万円 差入保証金の差入127百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△664	△ 472	短期借入金の純増額1百万円 長期借入れ415百万円 長期借入金の返済955百万円
現金及び現金同等物の増減額	△241	202	
現金及び現金同等物の期首残高	361	119	
現金及び現金同等物の期末残高	119	322	

セグメント別業績概況

(百万円)

		2011 年 2 月期 通期実績	2012 年 2 月期 通期実績	前年同期比 (%)	ポイント
飲食事業 居酒屋、レストラン等での 飲食サービスの提供	売上高	8,906	8,879	99.7	GM 制度により、既存店舗の売上高が堅調に推移。J-Value の推進に伴う原価・経費の適正化も進み、震災により前期比で売上高はわずかに減少しているが、利益は大幅に増加。
	営業利益	△5	176	—	
ブライダル事業 挙式・披露宴サービスの提供	売上高	288	259	89.8	コストコントロールにより、損失幅を縮小。売上高の向上へ向けて新規施設の開業を準備中。
	営業利益	△26	△5	—	
不動産事業 不動産の賃貸・管理業務等	売上高	234	206	88.0	社員寮の売却等に伴い、売上高・営業利益は減少したが、他のテナントビル「ダイヤモンドウェイ」や「G-SEVENS 刈谷」などは引き続き堅調に推移。
	営業利益	43	12	29.2	
その他の事業 広告代理業、卸売業等	売上高	453	605	133.6	子会社ジェイトレードの取扱高は引き続き順調に増加。 子会社ジェイメディックスで販売した公演チケットも寄与し、売上高・利益ともに増加。
	営業利益	12	24	190.0	

飲食事業の業態分析

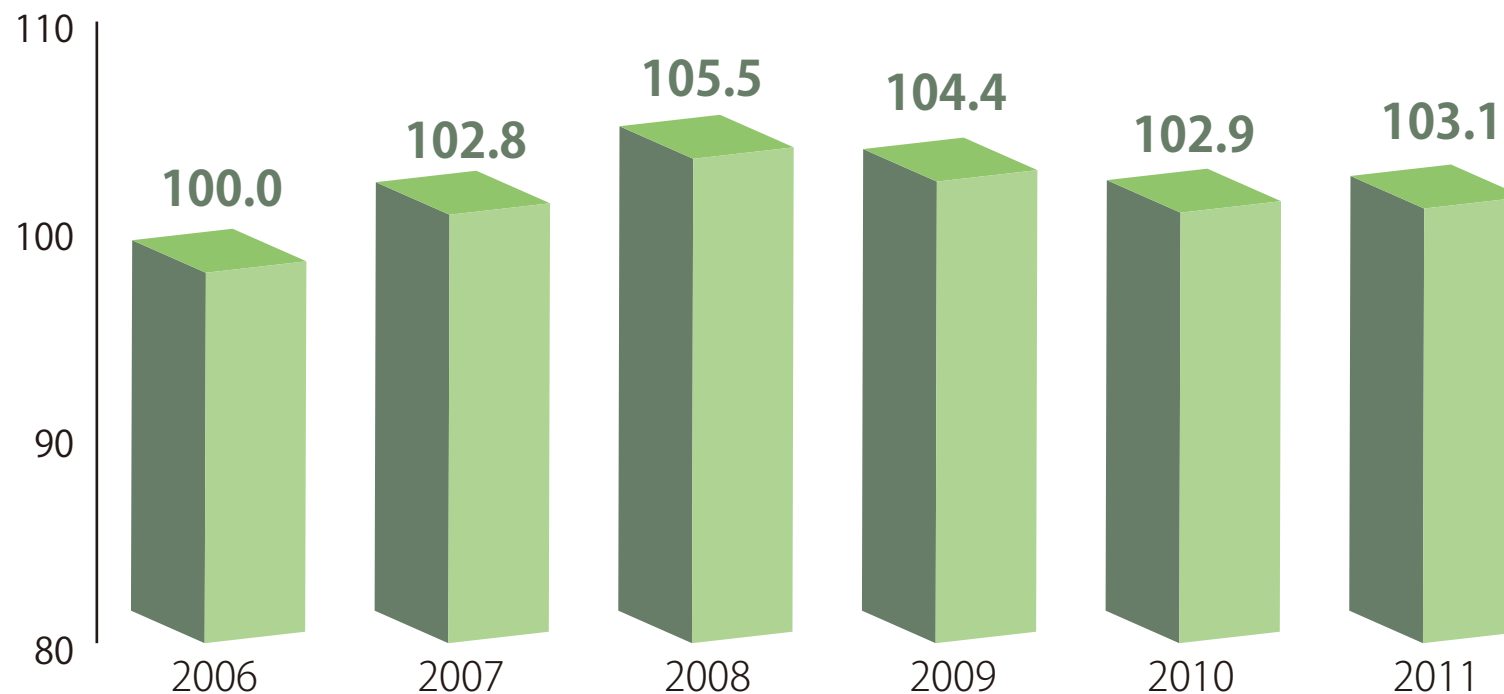
(百万円)

業態区分		2011 年 2 月期 通期実績	2012 年 2 月期 通期実績
居酒屋業態	売上高	6,312	6,523
	営業利益 (本部経費配賦前)	724	955
レストラン業態	売上高	1,128	979
	営業利益 (本部経費配賦前)	9	△6
SC 業態	売上高	1,172	970
	営業利益 (本部経費配賦前)	83	92

2. 2012 年 2 月期トピックス

デフレ競争を回避し売上高を確保

2006 年を 100 とした場合の居酒屋※客単価推移



※パブレストランを含む（出典：社団法人日本フードサービス協会外食産業動向調査）

居酒屋※の売上高が最も伸びた 2006 年と比較しても客単価は上昇

業界大手は、低価格・均一価格の居酒屋を大量出店したが、消費者のニーズとは必ずしもマッチしていなかった。
安易な低価格競争に迎合せず、しっかりと第3世代居酒屋の価値を提供することで売上高は堅調に推移。

J-Value 推進により FL コスト※1 が低減

J-Value の推進

1. 営業支援室による店舗管理の徹底

▶ コスト削減案の共有と浸透が進む

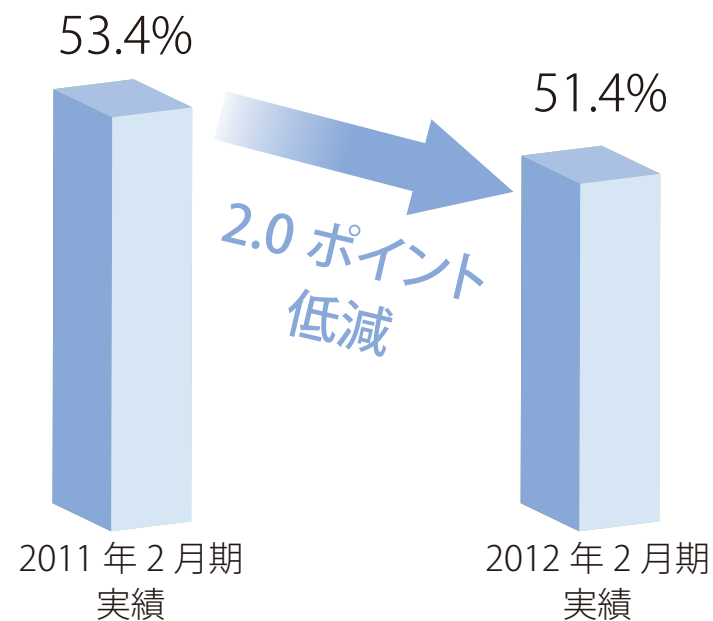
2. GM 制度の更なる拡大

▶ GM 店舗を 71 店舗へ拡大

3. Jトレードによる仕入業務の効率化

▶ 取扱高が大幅に増加し
コスト低減に寄与

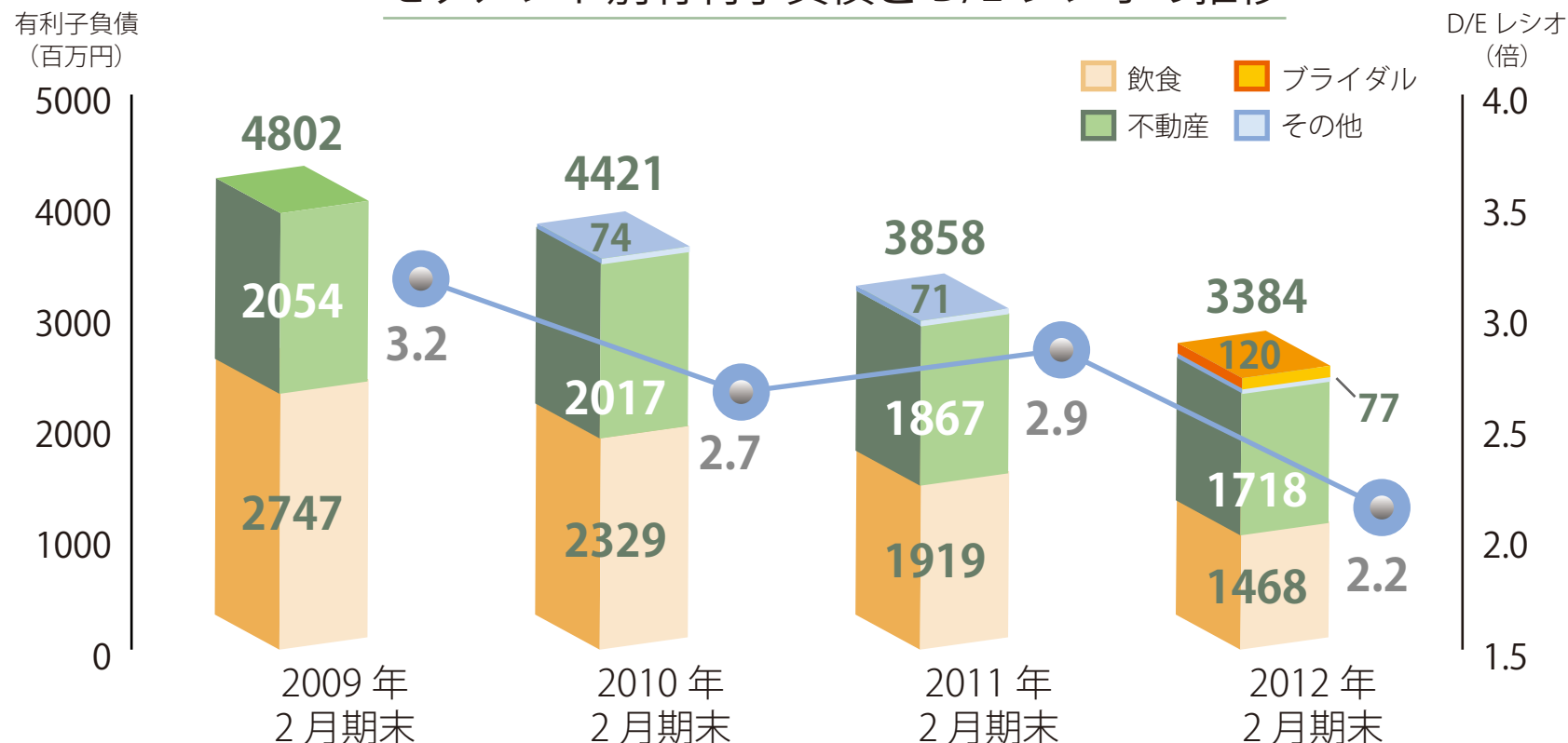
GM 制度導入店舗※2 の FL コスト比率



J-Value 開始時の目標「FL コストの 2% 削減」を 1 年で達成

有利子負債を軽減し財務体質を強化

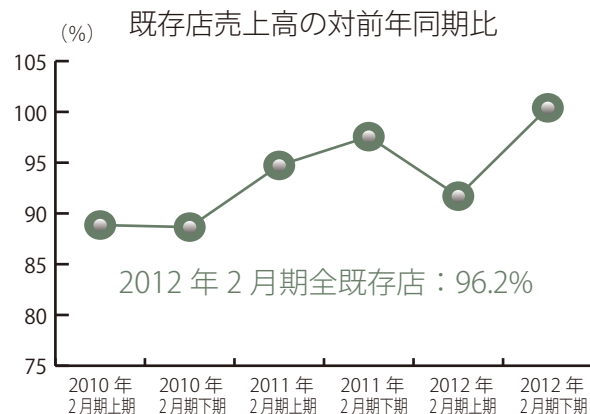
セグメント別有利子負債と D/E レシオの推移



有利子負債はピーク時から約 15 億円減少

2009 年 2 月期をピークとして増加してきた有利子負債は順調に減少し、2012 年 2 月期には約 15 億円を低減。
D/E レシオも 2.2 倍へと改善し、攻めの体制へ向けた財務体制の強化が完了。

既存店収益状況



		2011年										2012年		2012年2月期実績
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
居酒屋業態	売上高前年同月比	78.6%	92.9%	97.0%	100.2%	96.7%	102.2%	99.0%	99.6%	102.9%	102.4%	103.7%	103.7%	98.3%
	来店客数前年同月比	82.5%	94.7%	97.7%	99.4%	95.4%	100.0%	98.2%	97.7%	100.5%	100.8%	103.6%	103.3%	97.8%
	客単価前年同月比	95.2%	98.0%	99.3%	100.8%	101.4%	102.2%	100.8%	101.9%	102.4%	101.6%	100.1%	100.4%	100.5%
レストラン業態	売上高前年同月比	51.7%	50.0%	75.0%	99.4%	113.3%	89.6%	96.4%	97.5%	98.4%	105.7%	101.3%	85.7%	89.4%
	来店客数前年同月比	32.3%	28.2%	77.9%	97.4%	106.2%	87.2%	93.8%	93.4%	89.4%	98.1%	99.6%	82.9%	83.3%
	客単価前年同月比	159.9%	177.2%	96.3%	102.1%	106.7%	102.8%	102.7%	104.4%	110.0%	107.8%	101.7%	103.4%	107.2%
SC業態	売上高前年同月比	78.3%	91.3%	89.6%	91.1%	98.2%	85.8%	93.1%	89.8%	91.9%	96.9%	100.5%	96.8%	92.0%
	来店客数前年同月比	81.7%	93.2%	90.7%	90.0%	93.5%	81.0%	86.2%	84.0%	88.0%	90.2%	94.6%	87.7%	88.3%
	客単価前年同月比	95.8%	98.0%	98.8%	101.3%	105.0%	105.9%	108.0%	107.0%	104.5%	107.4%	106.3%	110.4%	104.1%

※既存店基準：開店日より 24 ヶ月を経過した店舗を対象としております。

9 店舗を新規出店（7 店舗をリニューアル）

芋蔵 蒲田西口店（新規出店）



オープン 3月1日
席数 85席
所在地 東京都大田区

猿 Cafe 栄町店（新規出店）



オープン 3月3日
席数 31席
所在地 名古屋市中区

金山豚酒場 活々豚々（新規出店・新業態）



オープン 4月14日
席数 92席
所在地 名古屋市熱田区

三枡三蔵（新規出店・新業態）



オープン 5月30日
席数 200席
所在地 仙台市青葉区

焼肉 燦家 Lucent（新規出店）



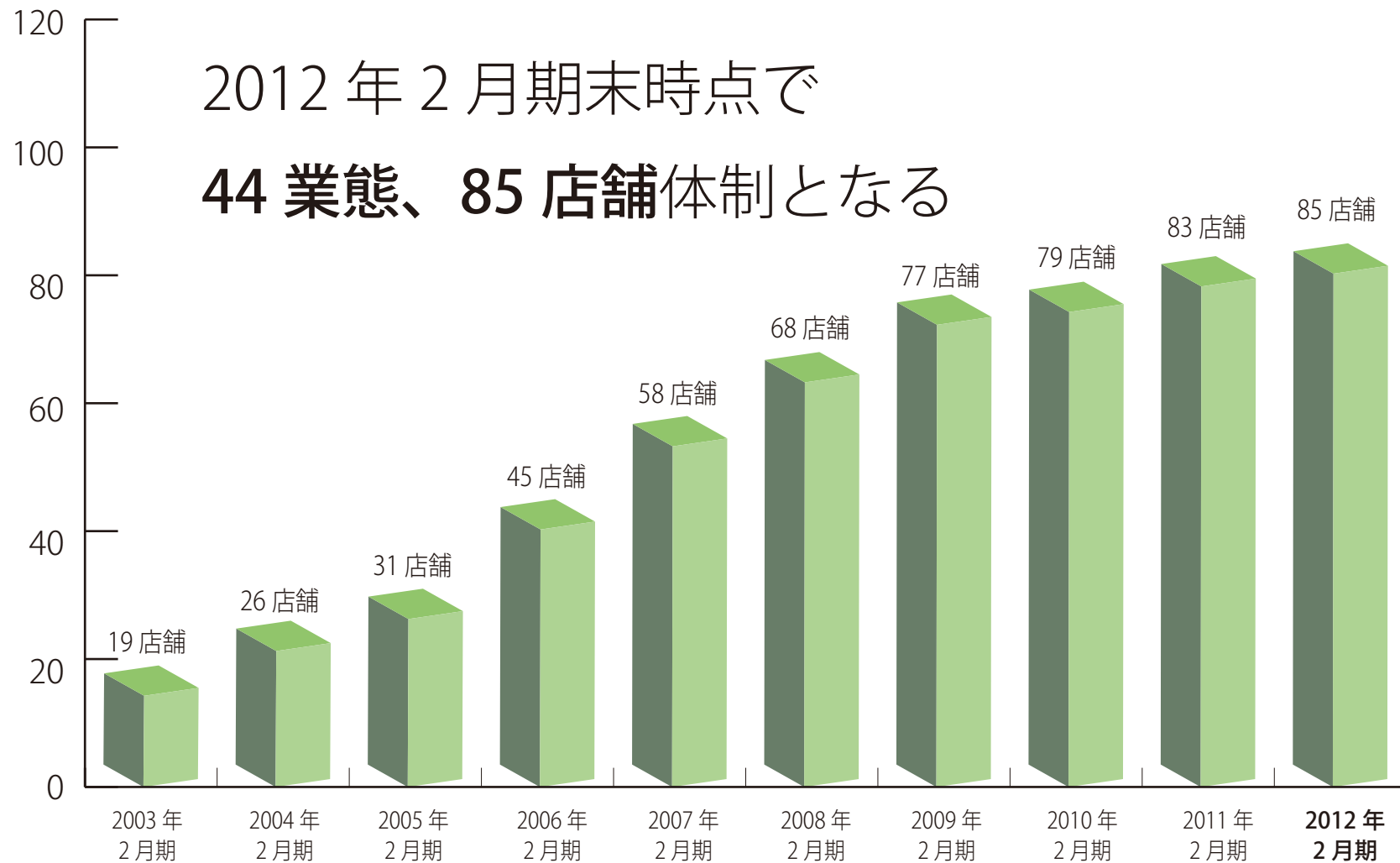
オープン 9月7日
席数 74席
所在地 名古屋市中村区

名駅豚酒場 活々豚々（新規出店）



オープン 10月8日
席数 93席
所在地 名古屋市中村区

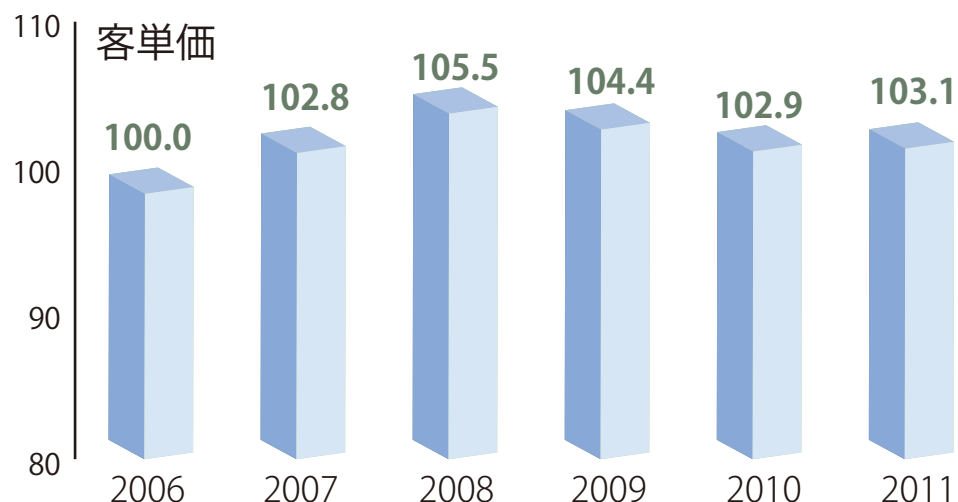
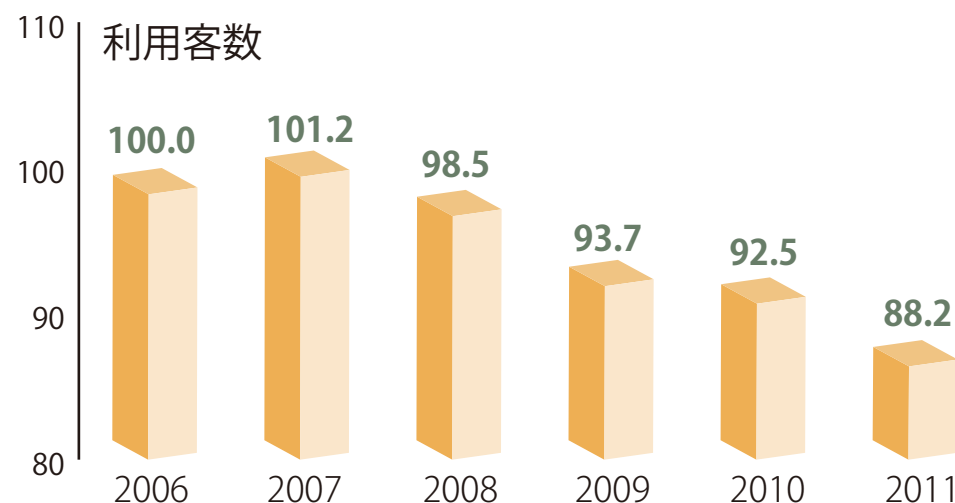
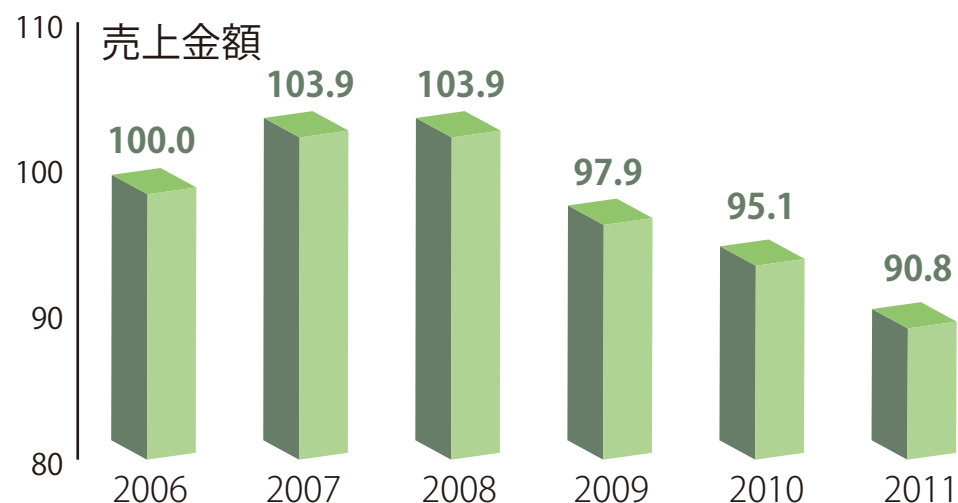
店舗数の推移



3. 今後の方向性

居酒屋業界の現状①

2006 年を 100 とした場合の居酒屋※各指標推移



売上金額 ↓ = 利用客数 ↓ × 客単価 ↑

第3世代居酒屋の需要が低価格・均一価格居酒屋に移行しているのであれば、客数は下がらずに、客単価が下がるはずだが、そうはなっていない。

消費者は飲む回数は少し減らしても、しっかりとした飲食サービスを求めていると考えられる。

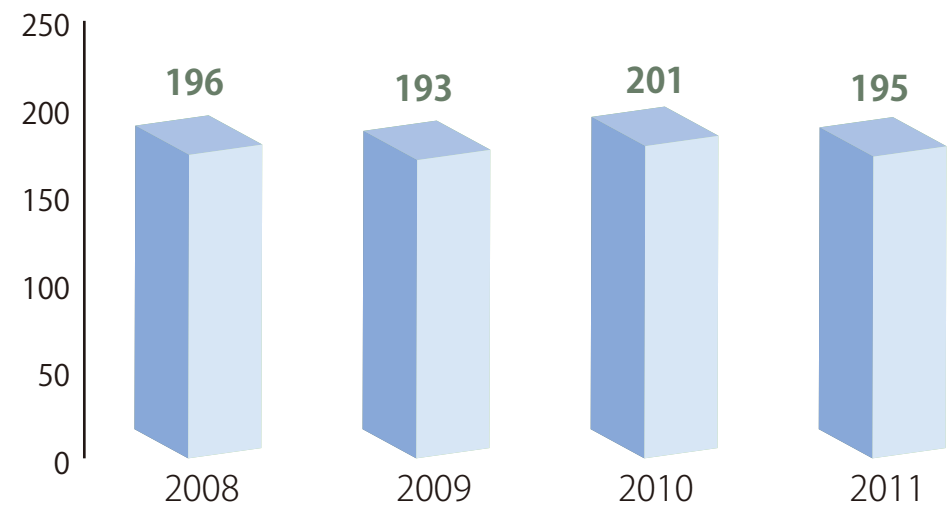
居酒屋業界の現状②

2006 年を 100 とした場合の居酒屋※店舗数推移



※パブレストランを含む（出典：社団法人日本フードサービス協会外食産業動向調査）

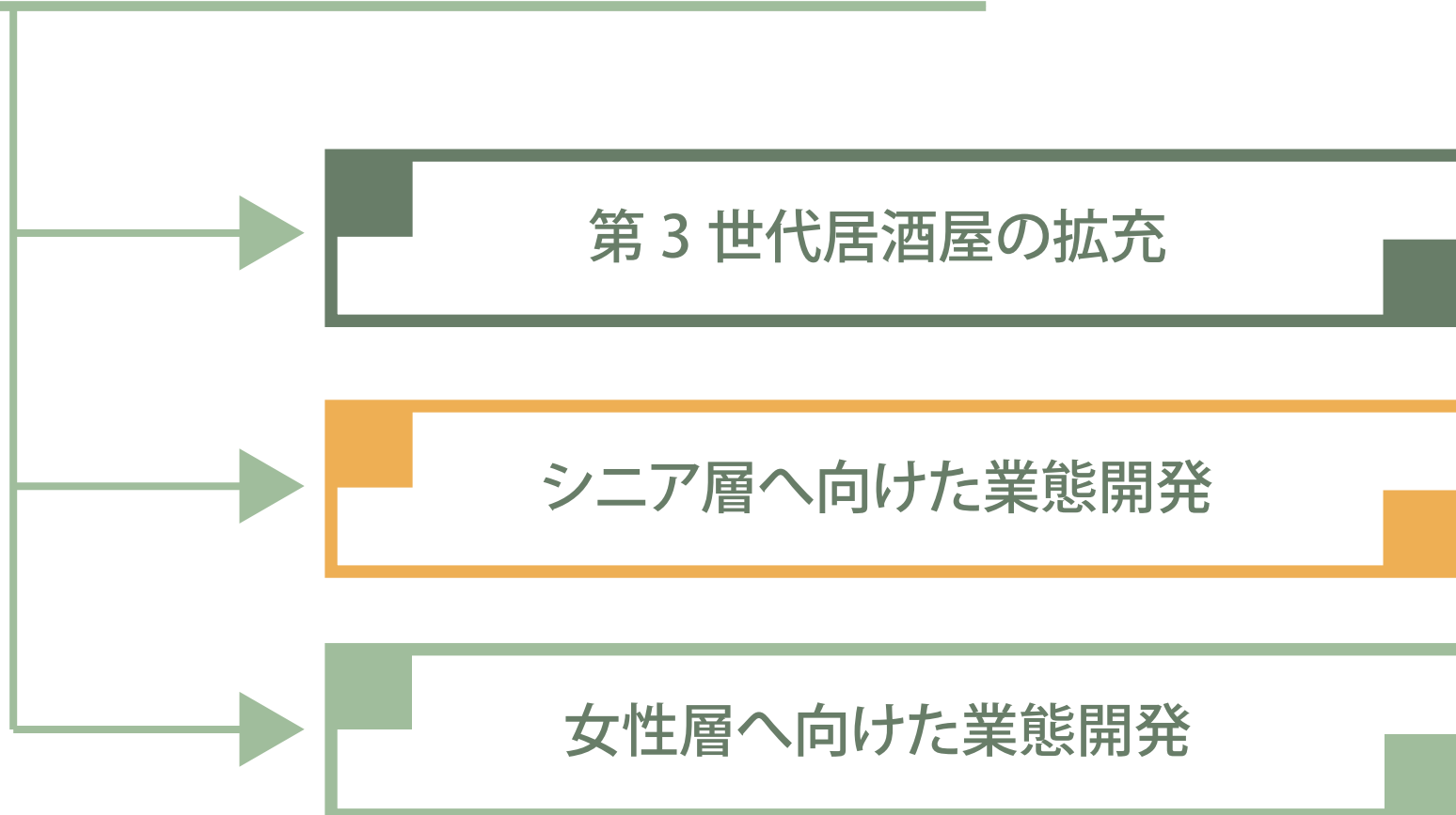
居酒屋事業者の倒産件数



※出典：帝国データバンク 調べ

業界の売上高減少・倒産件数高止まりに対し、店舗数は減少していない

小規模な居酒屋事業者の倒産が高止まりする中、新規開業や大手の居抜き出店などにより店舗数は維持。
業界の売上高減少に対し、店舗数が過剰な状態は続いているので、今後も業界内での淘汰が進むと考えられる。



今後の方向性②

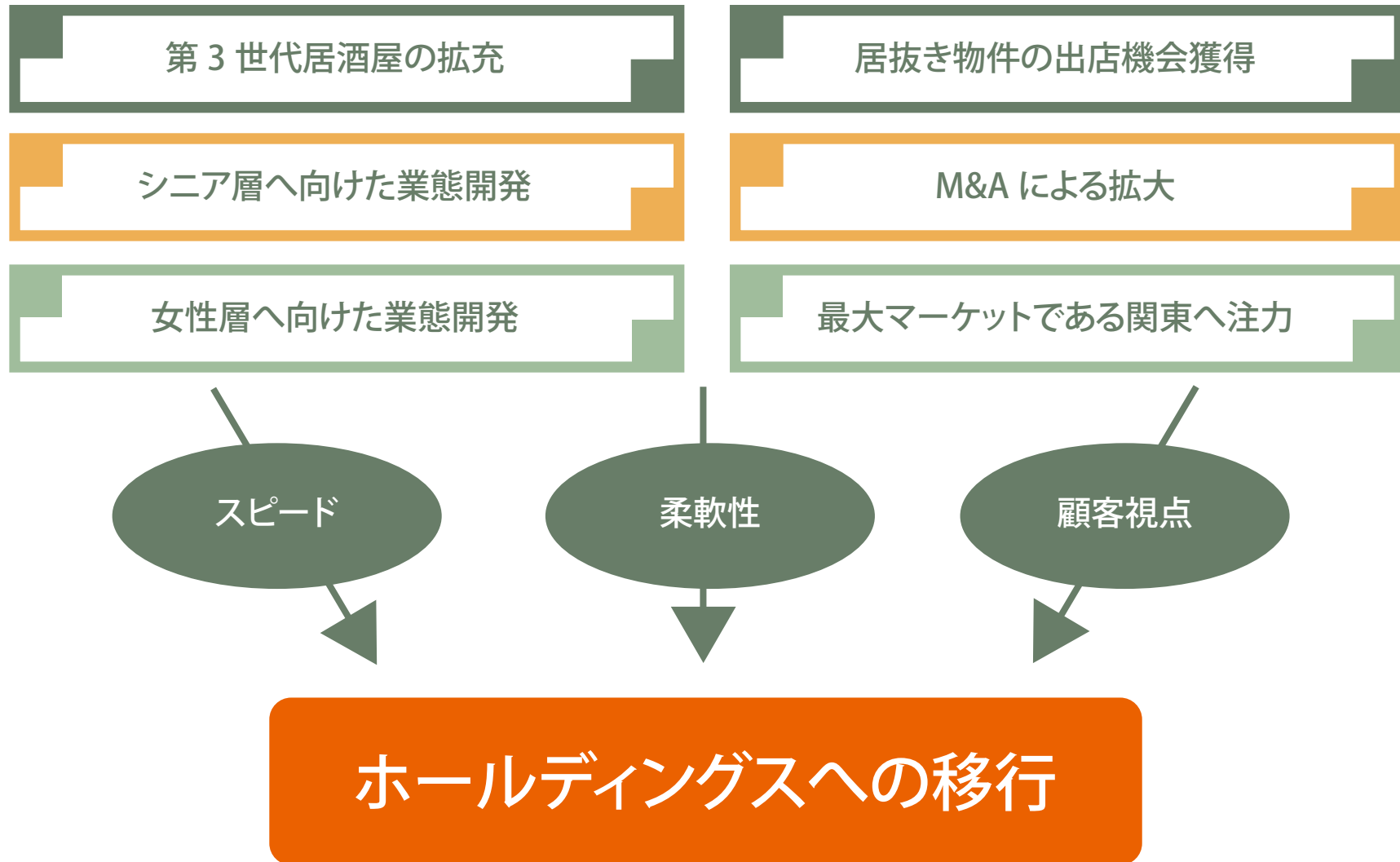
居酒屋業界の淘汰は進み廃業・閉店が増加

居抜き物件の出店機会獲得

M&A による拡大

最大マーケットである関東へ注力

今後の方向性③



株式会社ジェイグループホールディングス

(株) ジェイグループホールディングス

※2012年9月3日移行予定

(株) ジエイプロジェクト

新設

(株) ジエイブライダル

(株) ジエイメディックス

(株) ジエイトレード

(株) デイアジエイ

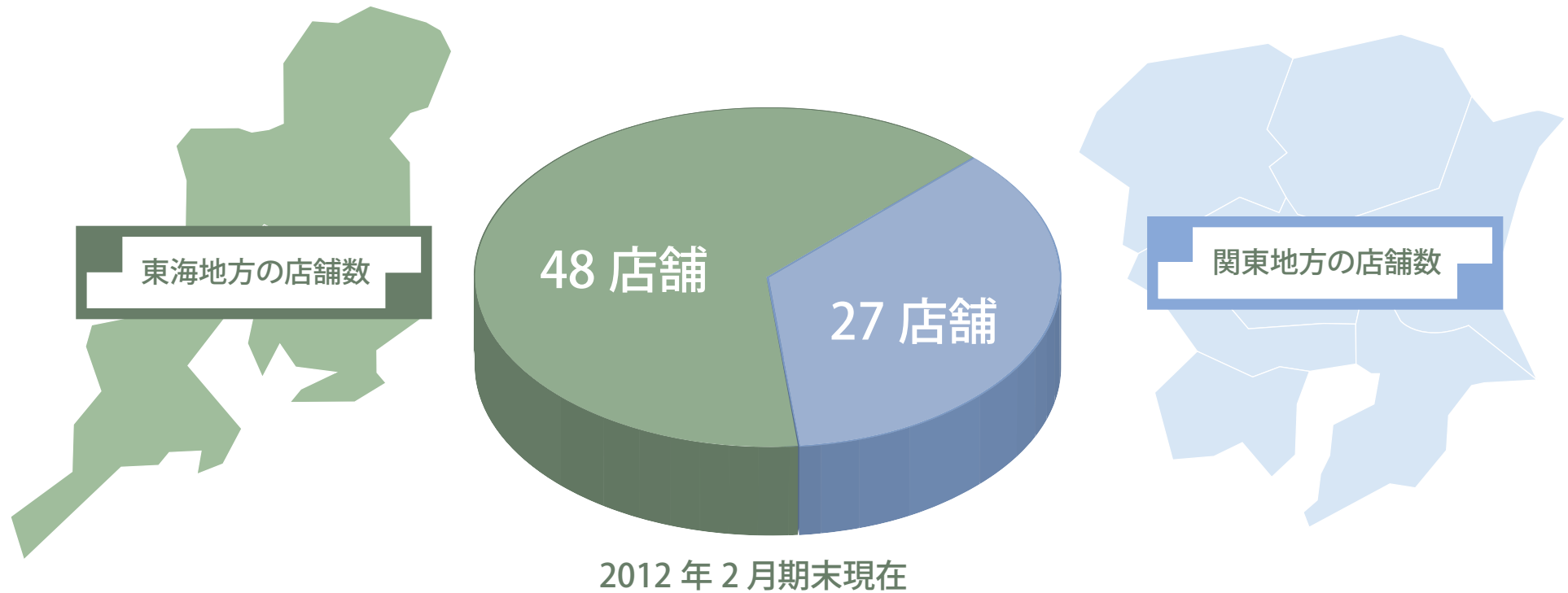
(株) ジエイキャスト

NEW FIELD HONOLULU, INC.

持分法適用関連会社

4. 今期の取り組み

関東地方の出店へ注力



マーケット規模から考えると関東地方の店舗数が少ない

短期的には東海地方と同数を目指し、長期的にはマーケット規模に応じた割合へ店舗比率を近づける。

新設(株)ジェイプロジェクトの代表は東京に在住し、関東地方での出店加速へ尽力。

ブライダル施設の新規オープン

名古屋で最も高い地上 180m のスカイチャペル
「LUCENT Mariage Tower」が今夏オープン



最上階 40 階スカイチャペル



最上階 40 階バンケット

名古屋駅直結の名古屋ルーセントタワーにブライダル施設を新規オープン

名古屋駅直結の立地に加えて、「名古屋で No.1 の高さ地上 180m」という景観の価値を追求。

今夏からの営業開始となるので、本格的な収益寄与は 2014 年 2 月期を予定。

今期 2 店舗を新規出店

Publish Garden REGOLITH（新規出店・新業態）



オープン 3月1日
席 数 80 席
所 在 地 名古屋市西区



鉄板バル Gappo（新規出店・新業態）



オープン 3月27日
席 数 46 席
所 在 地 東京都港区



今期の業績見通し

(百万円)

	2012 年 2 月期 通期実績	2013 年 2 月期 業績予想	前年同期比 (%)
売上高	9,514	10,007	105.2
営業利益	219	262	119.4
経常利益	266	197	73.9
当期純利益	122	82	66.9

